

ハチ対策は入梅までが肝心

～ハチに巣を作らせない・初期段階で駆除～

#活動時期には若干の個体差があります

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハチの生態と特徴 (アシナガバチ ・スズメバチ)	冬眠から目覚めた女王バチが営巣適地を頻繁に飛行	巣に卵を産み付け成虫の数が徐々に増加していく	活動の最盛期 成虫の数がピークを迎え巣も巨大化			産卵を終え成虫の数が徐々に減少	女王バチだけが越冬し、残りの成虫は死滅する					
		女王バチが1匹で営巣を開始				成虫の数がピークを迎え巣も巨大化	成虫が巣から離れ出し、活動終期を迎える	ハチの巣は翌年に再使用することはほとんどない				
防除のアドバイス	飛行するハチを見かけたら注意監視 雨露のかからない軒下やベランダ、エアコン室外機、樹木の中などをチェック		自力で駆除することが困難となるため 専門業者への依頼が必要 (※2アシナガバチは自力駆除も可能)									
		※1 営巣初期の巣はハチがいないのを確認し叩き落とせば駆除完了!!					夏場を過ぎたハチは活動が鈍くなり、終期も近いいため、生活に支障がなければ駆除する必要はない	ハチの巣を見つけても成虫はいないため撤去するか、そのまま放置しても安心				

ハチはなぜ人を刺すか？

巣や幼虫を守ろうとする防衛本能と自らの危険を回避するために人を襲い刺す
*ポイント＝巣やハチに近寄らず危害を加えない、水やハチ専用外の殺虫剤を散布しない

※1 営巣初期の巣
アシナガバチ



巣穴に卵や幼虫がいない

コガタスズメバチ



逆トックリ型が特徴

※2 アシナガバチを自力で駆除する方法

- ①ハチ専用の殺虫剤を購入する
- ②全ての成虫が巣に戻る夕方以降に殺虫剤を散布
 - ・巣から2～3mほど離れる
 - ・風上から巣に群がる成虫に向け一気に散布
 - ・使用上の注意を守る
- ③死んで落下したハチを除去(お尻の針に要注意)
- ④巣を叩き落とし③と一緒にゴミとして排出

* 最盛期の場合は、人を襲う場合もありますので十分ご注意ください

【問合せ先】

堺市生活衛生センター
南区原山台1-14-13
☎072-291-6464

詳しくはホームページをご覧ください

検索 堺市生活衛生センター